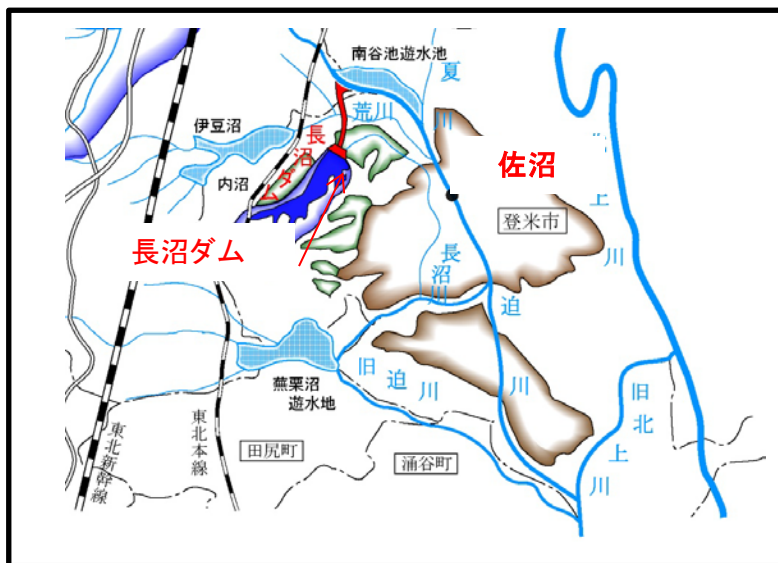


一級河川北上川水系 迫川 長沼ダムの効果(平成27年9月9日～11日)【速報】

宮城県

○長沼ダムでは、平成27年9月9日～11日にかけて、台風18号に影響された低気圧により長期間降雨が続き、**流域平均の累計雨量が164mm、最大時間雨量では23mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画600m³/sに対し、**328.17m³/sを記録しており、長沼ダムが完成して初めての洪水調節となりました。**

○今回の洪水調節により**5,365千m³を貯留しました。**これにより、下流河川の水位上昇を軽減し、**避難の判断の基準となる「はん濫危険水位」以下の水位に抑えることができました。**



ダムの状況写真

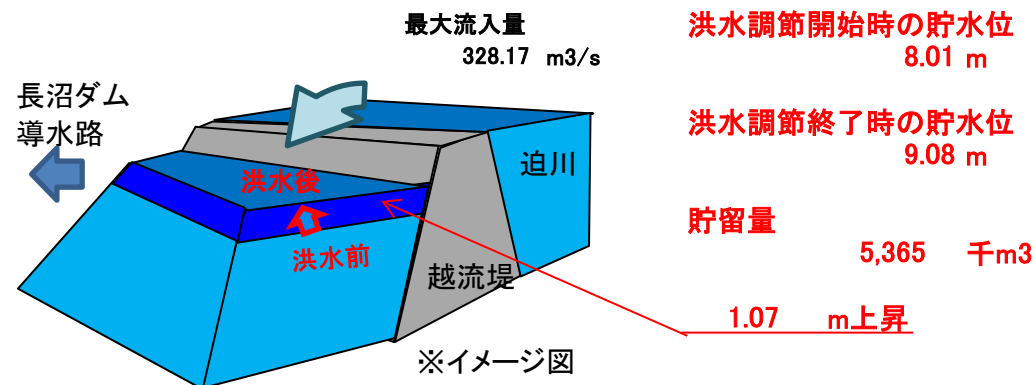


長沼ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	11日 9時 50分	終了	11日 23時 30分
・ダム流域累計雨量		164 mm	(9日 15時 ~ 11日 7時)	
・最大時間雨量		23 mm	(11日 0時 ~ 11日 1時)	
・ダムへの最大流入量		328.17 m ³ /s	(11日 11時 50分)	
・ダムによる最大調節量		328.17 m ³ /s	(迫川佐沼地点流量の 40.0%)	

長沼ダムによる調節量

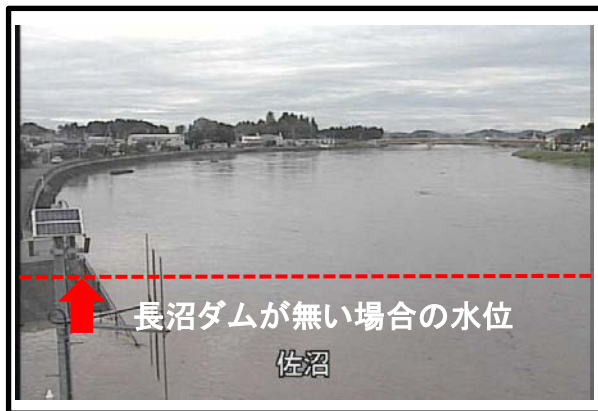
最大流入時に、迫川流量の 40.0% をダムに貯留しました。



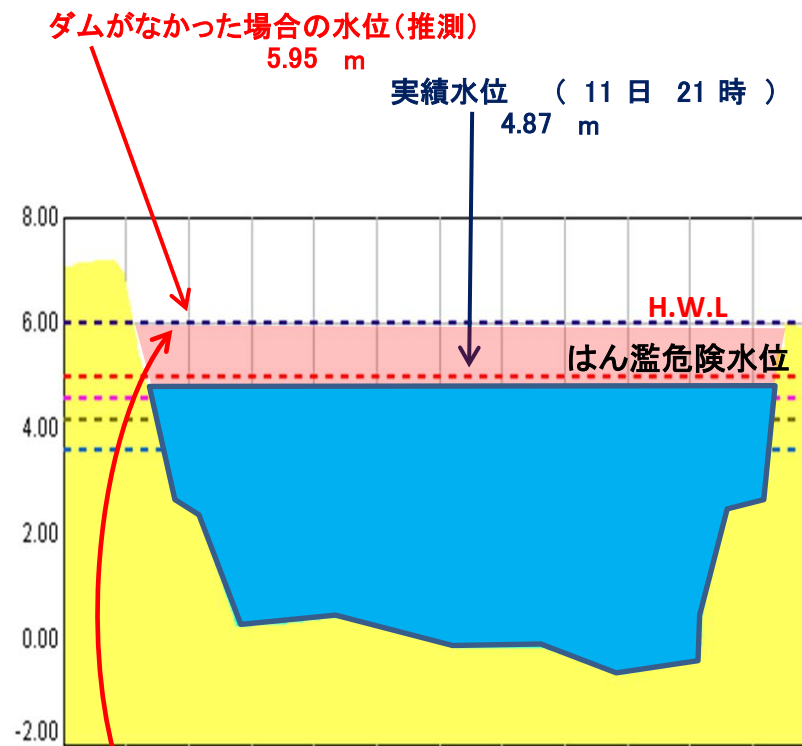
○長沼ダムの下流河川の水位上昇の軽減について、下流河川である迫川の佐沼地点では、**水位を約1.08m低減させる効果**があったものと推測されます。長沼ダムの洪水調節によって下流の佐沼地点で**避難の判断の基準となる「はん濫危険水位」以下に水位を抑える**ことができました。

○長沼ダムの下流河川の水位上昇の軽減により、下流の**排水調整の時間が約4.5時間が短縮**しました。内水の排水を行う排水機(ポンプ)の稼働時間を制限する排水調整の時間短縮により**内水の排除に寄与**したと推測されます。

下流河川の状況写真(洪水調節後)



迫川(佐沼地点)の水位低減効果



ダムにより約1.08mの水位低減効果を推測

迫川(佐沼地点)の排水調整時間の短縮

